

# 【西区】令和4年第3回区づくり推進横浜市議員会議

令和4年8月31日(水) 15時開始  
西区役所3B会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 座長の選出

### 3 議 題

#### (1) 令和4年度 西区主要事業の進捗状況等

- ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
- イ 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業
- ウ 西区「学び・つながり」支援事業
- エ 高齢者あんしん生活サポート事業
- オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
- カ 健康づくり応援事業
- キ 子育て支援の推進
- ク 地域連携推進・回遊性向上事業
- ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
- コ 西区民まつり事業
- サ ふるさと西区魅力発信事業
- シ スポーツ振興事業
- ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
- セ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
- ソ 地域防災活動推進事業

#### (2) 新型コロナウイルス感染症の状況

#### (3) デジタル区役所モデル区に係る取組

#### (4) 西区における開発動向等

#### (5) 令和3年度 個性ある区づくり推進費決算状況

#### (6) 令和5年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

### 4 会議報告書の作成

### 5 閉 会

### 3-(1) 令和4年度 西区主要事業の進捗状況

## 地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)  
【予算額 2,393千円(対前年度比 703千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

第4期計画については、令和4年3月に策定しました。令和4年度は、地域の皆様や関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組みます。

#### (1) 「にこまちプラン」の推進等(2,393千円)

##### ① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

様々な分野の課題解決に向けて、地域が主体となって取り組んでいけるよう、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで構成する地区支援チームなどと連携し、協働で支援を行います。

また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(6月13日開催)での意見等を踏まえ推進していきます。



推進評価委員会

##### ② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の広報・啓発

地域活動の参考となる題材を取り上げながら、様々な世代を対象とした「にこまち講座」を開催します。

また、学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、子どもたち自身に「地域とつながり」や「地域における自分の役割」などについて考える「こども向け啓発」の機会を創出します。



「こども向け啓発」の様子

さらには、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、「にこまちフォーラム」(7月28日開催)を実施し、また、地区別計画等を紹介する動画を制作し、西区紹介動画「#にしまろちゃんねる」で発信しています。

## イ 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業

(地域振興課)

【予算額 3,000千円(対前年度比 2,520千円増)】

令和4年度は、区民利用施設の利用者が、より手軽にICT機器を利用できるよう、個人利用ブースを整備し、区役所と区民利用施設をデジタルでつなぐ足がかりとします。

また、西区内のICT知識のある人材の発掘・育成に取り組み、地域にICTスキルを浸透させ、地域の中で学び合う環境づくりを進めることで、地域活動の更なる活性化及び結束力向上につなげます。

### (1) 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業(2,363千円)

対象施設に個人利用ブースを設けます。

また、端末機器を持参されていない利用者にはタブレットを貸出し、だれでも気軽にICTツールを利用できる環境を整えるとともに、地域へ普及させるための広報啓発を実施します。



個人利用ブース (イメージ)

| ■参考：個人利用ブースを設ける区民利用施設 |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 第一地区                  | 戸部コミュニティハウス     |
| 第二地区                  | 西前小コミュニティハウス    |
| 第三地区                  | 藤棚地区センター※       |
|                       | 西区区民利用施設協会      |
| 第四地区                  | 老人福祉センター横浜市野毛山荘 |
| 第五地区                  | 西地区センター※        |
|                       | 平沼集会所           |
| 第六地区                  | 浅間コミュニティハウス     |

※藤棚地区センター・西地区センターについては、デジタル区役所モデル区に選定されたことに伴い、当初よりも大型のブース設置を予定しています。



地区センター2館に設置予定のブース (イメージ)

### (2) ICTサポート隊養成(637千円)

区民が区民利用施設に敷設されたネットワーク環境(Wi-Fi、タブレットなど)を利用し、オンラインによる交流の場を広げるための支援を行います。

そのために、西区内のICT知識のある人材を発掘・育成するICTサポーター養成講座を開催するとともに、受講者が地域で活動するきっかけとなる場を提供します。

令和4年度は、Zoomなどのオンライン会議実施を中心に、ICTの活用方法についてアドバイスすることができるサポーターを養成する講座を8月26日(金)から実施しています。

| 回 | 開催日程             | 内容                       |
|---|------------------|--------------------------|
| 1 | 8月26日(金)         | オンライン会議の概要               |
| 2 | 9月14日(火)         | 会議主催者向け知識①               |
| 3 | 10月14日(金)        | 会議主催者向け知識②               |
| 4 | 11月中旬(予定)        | サポーター実践に向けた意見交換会         |
| 5 | 令和5年<br>1月20日(金) | サポーター実践①<br>(区民向けZoom講座) |
| 6 | 2月21日(火)         | サポーター実践②<br>(区民向けZoom講座) |



講座チラシ



当日の様子 (第1回)

## ウ 西区「学び・つながり」支援事業【新規】

(地域振興課)

【予算額 2,199千円】

感染症対策が続く中においても、自分にふさわしい形で地域活動を継続できるよう支援するため、あらゆるテーマから区民の「学び」の機会及び「学び」を実践する機会をつくり、区民の生涯学習の自主的な活動をサポートします。

また、地域で活動している方々と、そのノウハウや技を必要とする方とがつながる機会を提供し、地域の「つながり」の輪を広げるための支援を行います。

### (1) にしく魅力再発見事業(1,101千円)

西区の歴史や文化をはじめとした、西区のまちの魅力の「見つけ方」について学ぶとともに、受講者自身が再発見した新たなまちの魅力の「伝え方」について学ぶ講座を実施します。(申込期間は8月1日から8月31日まで)

本講座の実施により、受講者の継続的な学びの意欲を醸成するとともに、受講者自らが学習活動を展開します。



講座イメージ

#### ■にしく魅力発見・発信講座

| 回数  | 開催日程             | 内容                                 | 講師                  |
|-----|------------------|------------------------------------|---------------------|
| 第1回 | 10月7日(金)         | 講義・グループワーク<br>『まちの魅力の「見つけ方」について学ぶ』 | 株式会社タウンニュース社        |
| 第2回 | 10月21日(金)        | 講義・グループワーク<br>『まちの魅力の「伝え方」について学ぶ』  | NPO法人<br>横浜シティガイド協会 |
| 第3回 | 11月1日(火)         | グループワーク(フィールドワーク準備)                | にしくシティガイド<br>グループ   |
| 第4回 | 11月15日(火)        | フィールドワーク・グループワーク                   |                     |
| 第5回 | 令和5年<br>1月23日(月) | 発表・振り返り                            |                     |

### (2) 小学校との連携事業(1,098千円)

小学校の総合的な学習の場に地域人材ボランティアなどが活動できる機会を積極的に提供していきます。

#### ■実施内容

| 連携校   | 学年  | 取組                     | 講師     |
|-------|-----|------------------------|--------|
| 戸部小学校 | 3年生 | 紙飛行機の作り方(「神」飛行機プロジェクト) | 調整中    |
| 西前小学校 | 5年生 | 藤棚町の歴史(藤棚町の名前の由来)      | 藤の棚保存会 |



藤の棚保存会による藤棚町の歴史の授業の様子

(7月15日・西前小学校)



# いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

## エ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,938千円(対前年度比 330千円減)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

### (1) 地域包括ケアシステム推進事業(626千円)

#### ① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、広報よこはまやパネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します(11月予定)

#### ② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(準備会 7月25日 13名、11月予定)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(2回)

#### ③ 在宅療養ガイドの改訂

西区医師会・西区在宅医療相談室・地域包括支援センターと協働で作成した「西区在宅療養ガイド」について、ACP(人生会議)※を内容に加えるとともに、ケアマネジャー等の介護専門職から配布できるよう、検討会での意見を反映し改訂します。(9月予定)

※ACP(人生会議)…アドバンス・ケア・プランニングの略。自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のこと。



西区在宅療養ガイド

### (2) 認知症等高齢者支援事業(1,227千円)

#### ① 認知症講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会を開催します(10月20日予定)。また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

#### ② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

### ③ 普及啓発人材育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数162名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月16日、2月8日予定)

## (3) 健康づくり・介護予防事業(1,085千円)

### ① 「ころぼんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころぼんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころぼんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的活動の活性化に努めます。(通年)



ころぼんよ体操  
～パタカラバージョン～

### ② 介護予防活動人材育成研修等の実施 (健康福祉局 区配事業)

西区の健康課題であるフレイル・オーラルフレイル予防の重要性を啓発するため、西区歯科医師会が共催となり、講演会を開催しました。また、地域ケアプラザなど区内9施設にもオンライン会場を設けたことで、多くの方に参加していただくことができました(6月23日 268人)。



フレイル・オーラルフレイル予防講演会  
の様子

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数18名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(5月16日、12月予定)

### ③ 介護予防リーフレットの改訂

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、コロナ禍における各団体の状況を反映し、地域における介護予防等を促進します。(10月予定)



「お元気活動応援マップ 屋外編」  
公園・屋外で活動中のグループ紹介

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,652千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に障害者が避難してきた際の配慮等についての周知を行います。(通年4か所)

② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

③ 西区ふれあい作品展

障害者週間に合わせて、障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を区役所や地域活動支援センターアニミで行います。(12月6日～8日 区役所、10日～18日アニミ 予定)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害福祉関係通所施設の紹介冊子を作成し、障害当事者及び家族への情報提供として活用します。(400部 12月予定)また、一般の方向けのリーフレットを作成し、普及啓発イベントの機会を通じ広く区民にも配布します。(1,000部 11月予定)



ふれあい作品展

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(221千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付や計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル



## ② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

## ③ 災害時医療用蓄電池モニター事業

電源を要する医療機器を使用している方に非常用電源機器(蓄電池)を貸与し、蓄電池の使用状況や活用頻度の効果等について情報収集を行います。(8月)

また、非常時を想定した機器使用を試行します。(9月予定)

## (3) 障害者生活体験事業(483千円)

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が地域生活を送るための生活訓練・自立に向けたステップとして、マンスリーマンションを活用し、家事援助ヘルパーの利用も可能とする生活体験の機会を提供します。また、本事業体験後の次のステップについて、区内の既存の施設を活用した仕組みを検討します。(9月、1月予定)



マンスリーマンションの部屋

ひとり暮らし はじめの一步 第3弾  
西区障害者生活体験事業

自分自身の手でできるか試してみたい。ひとり暮らしのやってみることにあわせて体験できます。もちろん不安なこと、わからないことは一緒に考えます！

宿泊 一人で一晩過ごしてみたい。  
一日体験 泊まるのは不安だけど、家事等を自分でしてみたい。  
見学 実際に部屋を見て、イメージを作りたい。

対象 西区在住で18歳以上の精神障害者

体験期間 第1弾 〇〇〇〇年 第2弾 〇〇〇〇年 NEW 第3弾 2021年9月2日(木)～29日(水)(日祝除く)

お問い合わせ窓口 生活支援センター西 TEL:045-309-5010 月～土 10時～17時

共催 横浜西区役所 横浜障がい相談システムねくます

体験事業周知用ちらし



## カ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,720千円(対前年度比 130千円減)】

健康づくりの指針である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めるとともに、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供します。併せて、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します。

また、新型コロナウイルス感染症の予防や感染拡大防止について、最新の情報をパネル展や西区ホームページ等で発信します。

なお、各取組は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、関係団体とともに実施方法を検討します。

### (1) 健康づくり普及・啓発(795千円)

高齢者を対象とした「歯と口の健康週間」事業において、歯科医師会と共催で歯科医師による歯科相談や、パネル展示など健康情報の啓発を行いました(6月23日)。

また、中央図書館での健康情報啓発パネル展(7月20日～8月21日)や、区役所1階区民ホールでのオーラルフレイル等の健康情報パネル掲示(10月)により、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。



中央図書館でのパネル展

### (2) 食育推進事業(710千円)

食育推進会議の事務局として、区内の小学校、保育園、食生活等改善推進員等の関係団体間の情報共有の促進が図られる場を設けます(6月、10月)。また、研修会や区内の食育推進活動事例を紹介するパネル展を実施します。(2月)

### (3) 保健活動推進員等の活動支援(215千円)

保健活動推進員が行う健康づくり活動を支援します。

各地区では年間計画を作成し、感染対策を徹底しながら活動を行います。

また、令和5年4月の委嘱式に向けて、町内会からの保健活動推進員の推薦を依頼するとともに、ポスター掲示や会報の配布等により保健活動推進員の活動や役割を広く周知することで、人材の確保に努めます。



健康づくり活動(ハマのウォーキング)

## キ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 4,642千円(対前年度比 580千円増)】

### (1) 西区で子育て学び隊事業(3,428千円)

#### ① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。

このうち妊娠による身体の変化を学び、妊婦疑似体験などを行う講座について、平日に参加できない妊婦とパートナーが参加できるよう休日に開催します。また、委託により新たに区役所以外の会場でも実施し、休日の開催回数を増やします。(年6回→年12回)

※5月28日(土)実施：14組参加

6月18日(土)委託実施：10組参加 (会場：スマイル・ポート)

7月23日(土)実施：17組参加

8月27日(土)委託実施：5組参加 (会場：戸部本町ケアプラザ)



プレパパママクラス

#### ② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的とした「赤ちゃん教室」を区内9か所で実施します。感染症拡大防止のため、月齢に応じた2部制で開催しています。(年10回×9会場)

※4～8月実績：37回開催 384組、797名参加



赤ちゃん教室

#### ③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。いのちの始まりや胎児の成長をテーマに助産師が行う講話を通し、性に関する正確な知識の習得とともに、いのちの大切さを学ぶ機会としていきます。

※申込数 4校 (11月以降実施予定)



中学校いのちの教室

#### ④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。

## (2) 西区の保育施設つながり事業(697千円)

南浅間保育園において、新たにオンラインによる育児相談を実施します。また、地域の親子を対象とした子育て支援事業を実施するとともに、子育て関連施設と連携して、育児講座や保育の質向上に向けた研修等を実施します。

※オンラインによる育児相談：6～8月試行実施 9月以降本格実施（週1回）

## (3) 女性と子どものための相談支援強化事業(517千円)

子どもの発達や特性に対する関わり方に困り感のある保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズ(助言・指導)を受ける機会を設けます。

※臨床心理士による個別相談：4～8月実績 7回 37件実施

### 「こども家庭総合支援拠点」機能の整備

本市では、区役所における要保護児童等への支援や、子どもや家庭からの相談への対応を充実させるため、各区に「こども家庭総合支援拠点」機能の整備を進めています。令和3年10月から先行の10区が拠点としての運営を開始しており、西区を含む残り8区は、令和4年10月から開始します。

#### ■区こども家庭支援課に拠点機能を整備

新たに施設整備を行うものではなく、区こども家庭支援課がこれまでの業務スキルの蓄積を活かしながら「こども家庭総合支援拠点」機能の役割を果たしていきます。

#### ■児童虐待対応等の専任化

虐待対応調整チーム担当係長を中心に、国の基準を踏まえて配置した専門職により、主に要保護児童等への支援対応に専従する「こどもの権利擁護担当」を設置します。

#### ■相談対応機能の強化

心理職の配置により、心理的側面からこどもの見立てを可能とします。また、これまでの「子ども・家庭支援相談」を発展的に見直し、「こども家庭相談」として専門職が常時相談に対応するほか、支援方針を組織で協議する仕組みを構築します。

#### ■児童虐待以外の要保護児童等への対応

要保護児童等として支援する範囲を児童福祉法の規定に則り、児童虐待のみではなく不適切養育等がある家庭も対象とし、組織的に支援、進行管理します。



# まちの回遊性向上とにぎわいづくり

## ク 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 7,127千円(対前年度比 519千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の回遊性の向上や魅力の発信等、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

### (1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(4,000千円)

区民・企業等と連携した花と緑のまちづくり活動を推進するとともに、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し区内の魅力資源を周知・発信することで、区内の回遊性向上を図ります。

#### ① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めます。

また、「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

■参考：にしく緑花サポーター

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【花苗等配布実績】28か所(第1回：6～7月)



「ガーデンネックレス横浜」事業と連携した取組



区内での花と緑づくりの活動(南浅間保育園)

#### ② まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」について、新たに見どころや坂道等の情報を加えた散策マップを、3月に西区ホームページに掲載しました。マップの一部をふるさと西区推進委員会作成のリーフレットに掲載(8月)し、連携して周知に取り組むなど、区内の回遊性向上を図ります。

また、区内に設置している案内サインについて現況調査を7月に行い、維持管理計画の策定に向けて検討を進めています。



ふるさと西区魅力発信リーフレット  
(温故知新のみち散策マップ掲載)



## (2) 環境行動推進事業(1,836千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

### ① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」を実施します。

また、環境配慮行動の理解促進を図るため、区内の企業・団体と連携した若い世代向けの環境学習イベント等を実施します。

#### ■にしくSDGsチャレンジ

【実施期間】 令和4年7月19日(火)～令和4年9月9日(金)

【事業概要】 SDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。

【対象】 区内の小中学生

#### ■親子で学ぶ! にしくエコ・クッキング講座

【実施日時】 令和4年8月6日(土) 午前・午後(全2回)

【事業概要】 食材とエネルギーを無駄なく使う、環境にやさしい料理を学ぶ

【対象】 区内在住・在学の小学3～6年生と保護者(2人1組)

【参加人数】 14組28名



にしくSDGsチャレンジ チラシ



「親子で学ぶ! にしくエコ・クッキング講座」の様子

### ② 区内におけるSDGs達成に向けた取組の発信

より多くの区民の方がSDGsへの興味関心を持てるような機会を提供するため、横浜駅やみなとみらい21地区周辺のデジタルサイネージ等を活用し、区内企業・団体等のSDGs達成に向けた取組を幅広く発信します。

## (3) 地域連携交流事業(841千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、財政支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、みなとみらいにキャンパスを開設した神奈川大学との連携強化を図ります。

### ① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。(交付件数(8月末時点): 4件)

### ② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

### ③ 神奈川大学との連携

令和3年4月に神奈川大学みなとみらいキャンパスが開設されたこととともない、相互の連携促進を図るため定例的な会合を通じて、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めます。

#### ■参考: 令和4年度における神奈川大学との連携実績例

・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト

・デジタルサイネージを活用した禁煙啓発(4月21日～5月31日)

・西区権利擁護講演会(11月予定)

## (4) 区政推進運営事業(450千円)

西区運営方針の策定等、西区関連事業が円滑に進むよう各種調整、情報発信等を行います。

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) スタンプラリー事業(2,386千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

昨年度に引き続き、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー」及び「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」の開催を予定し、引き続き、より多くの商店会に参加を呼び掛けます。

なお、開催時期については、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しつつ、西区商店街組合連合会と連携していきます。



スタンプラリー冊子及びステッカー(R3)

■参考：令和3年度開催内容

・西区商店街スタンプラリー

8月1日～8月31日(10商店会：135店舗)

・西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり

9月20日～11月30日(9商店会：22店舗)

【店舗からの主な声】

- ・「このはがきを持参してくるお客さんが増え、結果、来客数が増えた」(405 コーヒーロースターズ)
- ・「商店会単独のイベントがないのでスタンプラリーはありがたい」(そば処松鶴)

【参加者からの主な声】

- ・少量購入でも快く対応してくださるのでうれしいです。
- ・母と食べ歩きができて良い記念になりました。



食べ歩き冊子及びステッカー(R3)

② 「オウチで西区商店会」

新たに飲食店に特化した「西区おいしいおみせ(仮称)」として紹介する冊子作成を予定します。

飲食店の外観、店内、料理、メニュー、場所などをわかりやすく掲載し、広く区民、来街者へ配布することでPRします。

また、西区ホームページ等を活用することで、さらに利用促進に繋げるとともに、飲食店舗へ参加登録を働きかけ、店舗情報の充実を図ります。

## (2) 西区情報発信事業(397千円)

### 「Instagram」

写真に特化した魅力発信ツールの「Instagram」を活用し、イベントや西区内の魅力スポットを随時発信するとともに、SNSでの関連付けである「#“ハッシュタグ”」にて投稿者との連携を呼びかけることでフォロワー数の増加を図り、まちのにぎわいづくりに繋がります。

また、ストーリー機能を活用し、イベントの様子をリアルタイムで発信していきます。

|                                  |
|----------------------------------|
| ■参考：西区公式 Instagram(R4.8月23日時点)   |
| 【投稿件数】      159件 (R3.8月末 150件)   |
| 【フォロワー数】   1,468人(R3.8月末 1,191人) |



各地区から見える(第1地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第2地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第3地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第4地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第5地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第6地区)  
横浜ランドマークタワー



各地区から見える  
(みなとみらい21地区)  
横浜ランドマークタワー



コ 西区民まつり事業(主催：西区民まつり実行委員会)

(地域振興課)

【予算額 6,007千円(前年度同額)】

西区民まつりは、区民による区民のための交流事業として、地域との連携と共生を図り、顔の見える関係づくりや情報発信を充実させ、地域活動の活性化を図ることを目的に、「西区民まつり実行委員会」の主催により、昭和51年から開催されています。

西区民まつり事業

西区民まつり実行委員会において開催期間及び開催方法を決定しました。これを受けて、7月に  
出展団体の募集を行い、50団体にお申込みいただきました。

| ■参考：第47回西区民まつりの概要 |   |
|-------------------|---|
| 開催時期              | 令和4年10月3日(月)～12月23日(金)<br>(土日祝日を除く平日50日以上(予備日含む)) |
| 会場                | 西区役所前特設ブース  |
| 主な内容              | 各種団体の活動PR、活動内容の展示、物販など                            |
| 募集枠               | 1日1団体(複数団体の連携出店可)                                 |

※上記内容は検討中につき、変更する可能性があります。

※新型コロナウイルス感染症の状況や荒天等の理由により、開催が変更または中止になる場合があります。

特設ブースイメージ図



正面側(平面図 左下より)



背面側(平面図 右上より)



サ ふるさと西区魅力発信事業(主催：ふるさと西区推進委員会)

(地域振興課)

【予算額 4,818千円(対前年度比 27千円減)】

西区の伝統文化、歴史的資産や魅力を総合的に発信することで幅広い区民の参加を図り、区民の一体感、まちのにぎわいづくりを促進することを目的として、「ふるさと西区推進委員会」の主催により、平成22年度から事業を展開しています。

(1) 西区虫の音を聞く会(1,933千円)

掃部山公園で野点(屋外での茶会)や琴・尺八の演奏等を行い、和の伝統文化を楽しむとともに区民の交流を深める催しとして、昭和40年から開催しています。

今年度は、マスクの着用及び手指消毒についての注意喚起、子どもの広場での模擬店の中止や野点参加者の人数制限等の感染症対策を講じ、3年ぶりに実施しました。

開催日時 8月27日(土) 17:00~19:30

会場 掃部山公園

内容 ぼんぼり・万灯の点灯、野点、  
琴・尺八の演奏、鈴虫の販売 など



開催当日の様子

(2) 横浜かもんやま能(1,300千円)

井伊直弼公ゆかりの地で開催する能と狂言の鑑賞会です。横浜開港の地としての西区の歴史に思いを馳せるとともに、日本の伝統芸能に親しむ機会を提供できるよう、実施に向けて準備を進めています。

開催予定日時 10月2日(日) 14時開演

会場 横浜能楽堂(486席)

内容 能楽師による実技と解説  
狂言「寝音曲(ねおんぎょく)」  
能「通小町(かよいこまち)」

区民先行販売 7月16日(土)~18日(月)

57枚販売(S席40枚、A席7枚、B席10枚)

一般販売 7月30日(土)~



能「通小町」(観世流) 観世鏡之丞



チラシ配架の様子(関内ホール)

### (3) MM地区とのつながり促進事業(848千円)

西区キャンドルアートは、毎年12月にみなとみらい21地区にあるグランモール公園で開催される一夜限りのイベントです。キャンドルの優しい灯りで会場を照らし、幻想的な雰囲気をお楽しみいただけますよう、実施に向けて検討を進めています。

また、さくらフェスタ開催への協力を行い、地域交流の促進につなげます。

### (4) 彦根市との友好交流事業(274千円)

平成27年に友好交流の覚書を締結した彦根市において開催される物産展に協力します。物産展では、パネル展示やパンフレットの配布を行い、西区の魅力発信につなげます。

### (5) ふるさと西区魅力発信情報誌(463千円)

西区の歴史や魅力を発信する情報誌「ふるさと西区」について、内容の充実を図るため「温故知新のみち散策マップ」の情報を加えるとともに、視認性を高めるための新規デザインへの改訂を行いました。

■参考：ふるさと西区魅力発信リーフレット

発行：令和4年8月（ふるさと西区推進委員会）

発行部数：8,000部

配架場所：区内郵便局、YCAT、観光案内所、区内市営地下鉄駅、区内公共施設 等



ふるさと西区魅力発信リーフレット（表）



配架の様子（西区役所49番窓口）



配架の様子（YCAT）



配架の様子（横浜信用金庫藤棚支店）

【予算額 3,245千円(対前年度比 930千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各競技への理解・関心を高めます。

また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

### (1) スポーツ体験会(770千円)

#### ① 親子サッカー体験会

カタールで開催予定のFIFAワールドカップ(令和4年11月21日から12月18日)に合わせて、親子サッカー体験会を横浜FCと連携して実施し、区民が親子で競技に親しむ機会を創出するとともに、サッカーへの関心を高めます。



こどもサッカースクール(R1)

#### ② 小学校におけるスポーツ体験会

小学校において、児童がパラスポーツを含むさまざまなスポーツを体験し、各種競技への理解を深める機会を創出します。



西区スポーツ推進委員ボッチャ講習会(H30)

| 実施種目      | 実施協力者                                 |
|-----------|---------------------------------------|
| ライフキネティック | 女子サッカーチーム日体大SMG<br>大槻監督・選手            |
| サッカー      | 知的障がい者サッカーチーム<br>横浜F・マリノスフトゥーロ        |
| ボッチャ      | 西区スポーツ推進委員連絡協議会                       |
| ランニング教室   | 横内 祐太朗選手(西区在住、トレイル<br>ランニング世界選手権日本代表) |
| 陸上教室      | 大玉 華鈴選手(日体大SMG所属、陸上<br>七種競技)          |

#### ③ トップスポーツチームとの連携

スポーツ体験会の連携のほか、昨年度に引き続き、横浜FCの御協力により、ホームゲームに区民等を優待する「にし区民DAY」を9月10日(土)に開催します。(栃木SC戦・18時・ニッパツ三ツ沢球技場)。申込みは8月19日から開始しています。



横浜FC「にし区民DAY」(R3)

## (2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(1,700千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民等を対象としたウォーキングフェスティバルを12月4日(日)に開催します。開催に向け、6月11日に試歩会を実施するとともに、第2回部会を書面で開催し、サブタイトル、コース及びコース名等を決定する予定です。  
(9月中旬)



ゴール会場(臨港パーク)(R3)

### ■参考：第15回西区ハマのウォーキングフェスティバル 実施概要

【開催日】令和3年12月5日(日)

【参加者数】695人

【コース】東海道からみらいへコース(長距離/7.5km)

奉行所からみらいへコース(短距離/4.0km)

## (3) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。



西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、10公園に藤が植栽されています。事業開始前は、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっていました。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、花が少しずつ咲くようになりました。満開の藤の花を目指し、引き続き藤の花の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、屋外でも密にならないよう工夫するなどして取組を進めます。

### (1) 公園・施設等の緑化推進(1,663千円)

#### ① 花苗・球根の提供と花苗植えの協働実施

夏季に向けた取り組みとして、28公園で5月6月に花苗を提供しました。うち14公園では、公園愛護会を中心に延べ160名が参加し、土木事務所と協働で花苗植えを行いました。保育園児や小学生などが参加した公園もあり、地域の交流を深める場ともなりました。(年2回、夏季は28公園、冬季は31公園)

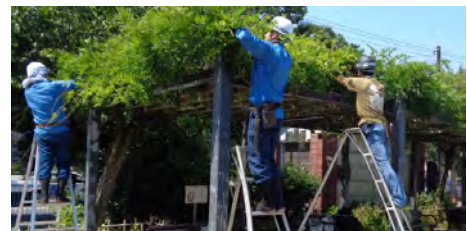


公園での花苗植え

### (2) 藤の花再生プロジェクトの推進(740千円)

#### ① 藤の花の維持管理方法の確立

区内の藤棚がある10箇所の公園にて、委託した専門家と一緒に藤の状況を確認し、アドバイスを受けて、7月に夏季剪定を行いました。



専門家との夏季の剪定作業

#### ② 地域の藤の花の再生への取組

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ、区内の藤棚の関係者と管理方法の情報を共有していきます。(通年)


「藤の花再生サポーター」にご応募された方々を対象に、7月、戸部公園にて、専門家の指導のもと藤の管理作業の実技講習を行いました。(実技講習年2回)



藤の花再生サポーター講習会

#### ③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信

令和2年からツイッターでの情報発信をしています。管理作業のポイントや藤の開花状況・藤棚の紹介などを7月までに15回発信しました。西土木事務所のホームページでも節目ごとに情報を掲載していきます。(通年)

 【藤の花再生PJ】7月1日戸部公園で「藤の花再生サポーター実技講習会」を開催し、7名の参加がありました。講師の指導のもと、剪定を体験し、切る枝の選び方がわかりやすかったなどのお声をいただきました。次回は3月に冬季剪定講習会を開催予定です。#横浜 #西区 #藤棚 #藤の花再生PJ



ツイッターでの情報発信

# 安全・安心なまちづくり

## セ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,858千円(前年度同額)】

清潔で美しい街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、区民・企業の3R行動の推進や地域清掃活動の支援を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、人との接触を抑えたオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

### (1) ヨコハマ3R夢推進事業(909千円)

#### ① ごみの減量・リサイクルの推進

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、環境負荷を抑えた素材を原料とした啓発物品を積極的に取り入れます。

今年度、共創フロントを通じて企業と連携した事業では、ワンウェイプラスチック使用削減を目的としたワークショップを人通りが多くにぎわいを見せる横浜駅西口で実施し、ワークショップに参加された方々に楽しみながら環境問題を学んでいただきました。(JR横浜タワー2階アトリウム6月17日(金)18日(土)参加者 計108名)

また、企業と協働して実施している店頭啓発では、新型コロナウイルス感染症対策として対人接触のないデジタルサイネージを活用した視認啓発を6月の環境月間に合わせプラスチック問題を中心とした映像を区内2店舗で放映しました。

今後もSNS(Instagram)での情報発信など、区民の方が興味をひくような内容で、ごみの減量・リサイクルの推進に向けた啓発を実施していきます。

#### ② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象に楽しく学べる環境学習をみなとみらい本町小学校、富士見台小学校の2校5クラスと戸部小学校、宮谷小学校、東小学校、一本松小学校の放課後キッズクラブで合計9回実施しました。

3R講座の実践編では、(公財)横浜市資源循環公社と連携したりサイクルびんと廃油を使用したエコキャンドル作りやペットボトルリサイクル素材を使用したきんちゃくキットなどを活用し、リサイクルに対する関心を深めていきます。



ワンウェイプラスチック削減ワークショップ



デジタルサイネージを活用した視認啓発  
(サミット横浜岡野店)



エコキャンドル作り (みなとみらい本町小学校)



また、各学校の要望に合わせて新型コロナウイルス感染症対策として、職員と児童との接触を極力避けられるオンライン講座を引き続き実施します。

実施に当たっては、令和3年度に緑選別センター、資源循環局西事務所、環境事業推進委員と中継を結び実施したオンライン講座を今後も学習内容のニーズに合わせて現地からの中継などオンラインの特徴を活かした内容で実施していきます。



オンライン講座（富士見台小学校）

## (2) 清潔で美しい街づくり推進事業(1,949千円)

自治会・町内会による地域清掃活動を支援するため、地域が必要とする清掃用具を配布します。

(清掃用具：8月配布済)

このコロナ禍において、感染状況に応じた内容で地域や学校、企業と連携した「横浜駅をきれいに！キャンペーン」を横浜駅周辺及びみなとみらい21地区で実施しました。（7月25日（月）参加者 計226名）

今後も街の美化を維持するため、関係区局が連携した行政による清掃活動の継続及び、現在60団体登録されている企業、団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER）の登録数を増やすことで、コロナ禍において徐々に元の環境に戻りつつある企業・団体による自主的な清掃活動を支援します。

（令和4年度3団体増 昨年度同月5団体増）

また、昨年に引き続き、区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を今後も地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

なお、ポイ捨て対策として実施している横断幕や新田間川遊歩道のポイ捨て抑制路面シールの視認啓発を継続することに加え、帷子川沿いにポイ捨て禁止看板を設置し、清潔で美しい街づくりを推進していきます。



横浜駅をきれいに！キャンペーン



行政(関係区局)による清掃活動  
(今年度3回実施 年10回予定)



ポイ捨て抑制路面シールと  
ポイ捨て禁止看板

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,650千円)

① 新型コロナウイルス感染症対策の強化と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、感染症対策を引き続き実施していくとともに、長期の避難生活を見据えて衛生対策物品を新たに配備します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要援護者など多様な避難者に対応できるよう支援を行います。



岡野中学校地域防災拠点訓練(R3)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(防災週間(8月30日)～3月11日、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、「新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」や「感染症対策のために推奨する訓練例」を各拠点と共有し、新型コロナウイルス感染症を踏まえた訓練の実施を支援します。

・地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会 (5月27日)

【拠点訓練の実施予定(8月26日時点)】

| 実施日      | 拠点名    | 主な訓練内容         |
|----------|--------|----------------|
| 9月4日(日)  | 軽井沢中学校 | マニュアル、備蓄庫確認等   |
| 9月11日(日) | 平沼小学校  | 学校Wi-Fi運用訓練等   |
| 9月11日(日) | 岡野中学校  | 避難者受付、情報受伝達訓練等 |

(2) 区本部の防災機能強化(6,367千円)

① 震災・風水害対策の強化及びデジタル機器の活用

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練(360度カメラの活用)を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、デジタル機器を活用し効果的な研修(ARアプリの活用)を実施します。

夜間の避難場所案内用に発光式掲示板を追加

・風水害対策訓練(6月3日)

【実施内容】避難場所開設、広報ルートの確認、360度カメラによる情報収集等(参加者:27名)

・震災対策訓練(11月)



風水害訓練(広報ルート確認)の様子



## ② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部である JR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練と、帰宅困難者一時滞在施設における開設訓練を実施し、関係機関との連携強化を図りました。

- ・ JR横浜タワーでの帰宅困難者対策訓練（6月14日）

【実施内容】 JR横浜タワーへの職員派遣、無線による情報受伝達訓練等（参加者約90名）

- ・ 帰宅困難者一時滞在施設開設訓練（8月8日西地区センター・西公会堂）  
（8月15日西スポーツセンター）

【実施内容】 施設開設手順の確認、無線による情報受伝達訓練等（参加者19名）

## ③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊訓練(年1回開催予定)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(年1回開催予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

## (3) 自助・共助の推進(4,486千円)

### ① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

令和3年7月に発生した西区内における崖崩れを踏まえ、横浜市と協定を締結している、住宅・宅地の安全と防災に関する専門家である地盤品質判定士会による無料相談会を実施し、民有地の崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図りました。（年2回開催予定）

**【実施日時】**

(1) 令和4年7月24日（日）@藤棚地区センター

(2) 令和4年7月25日（月）@西区役所

※各日6組（計12組）が参加し、多くの方から「参考になった」との声を頂きました。



**崖地相談会の様子**

### ② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携しての啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

#### ■参考

##### 【感震ブレーカー補助実績】

- ・ 令和元年度：7団体・206個
- ・ 令和2年度：13団体・447個
- ・ 令和3年度：6団体・144個

##### 【初期消火器具更新実績】

- ・ 令和元年度：4団体・7基
- ・ 令和2年度：7団体・17基
- ・ 令和3年度：3団体・4基

### ③ 区民や事業者への防災・減災の普及啓発

防災・減災に関する啓発のために、区民等を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。防災講演会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施方法を検討します。

また、広報よこはま西区版5月号特集を「風水害への備え」、8月号特集を「帰宅困難者対策」とし、啓発を実施しました。なお総務局と連携し浸水ハザードマップを作成し全戸配布を実施しました。

#### ■参考（8月18日時点）

##### 【防災セミナー等の開催実績】

- ・小中学生向け：2校（4回）
- ・地域団体向け：1団体
- ・事業者向け：3団体

### ④ 普及啓発の多言語化への対応

無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket(カタログポケット)」等を活用し、外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう多言語化を図り普及啓発します。

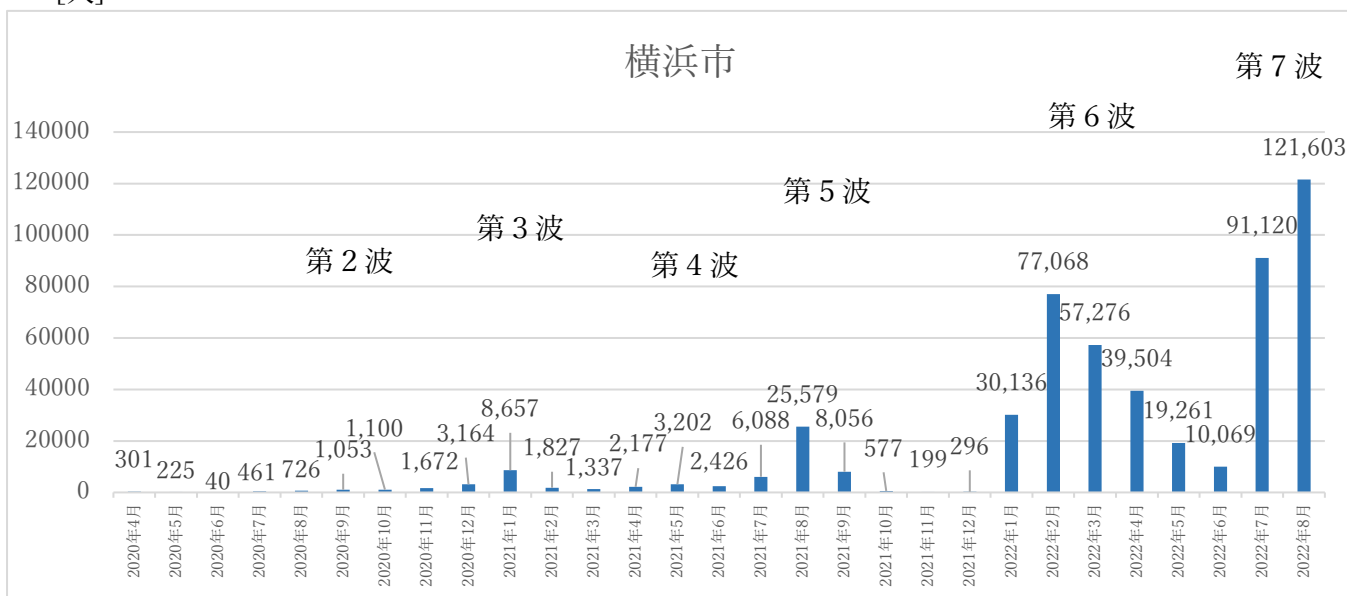
令和3年度に作成した「西区版在宅避難リーフレット」の多言語化を実施しました。（3月）

### 3-(2) 新型コロナウイルス感染症の状況

#### 1 新型コロナウイルス感染症の状況

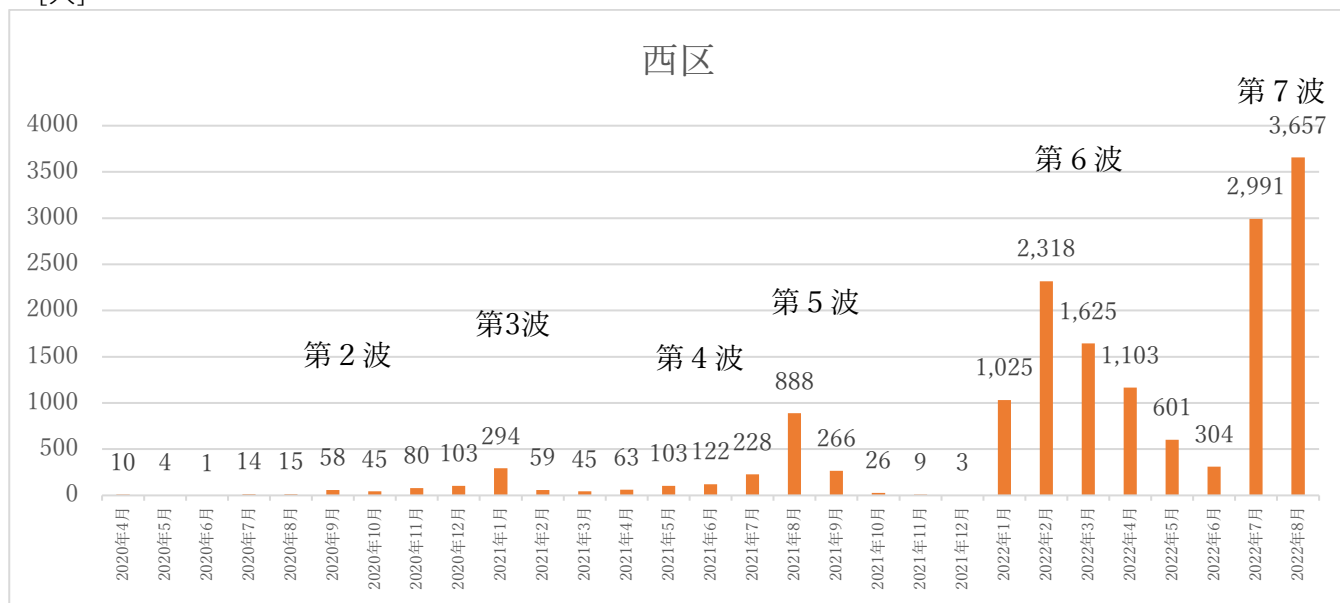
各区福祉保健センターでは、「新型コロナウイルス感染症」に関する保健所業務（感染拡大防止や感染者の療養支援等）を行っています。陽性患者の状況等は、次のとおりです。

##### (1) 横浜市の陽性患者数の推移 (2020年4月～2022年8月28日) [人]



※毎月1日から月末までの数値

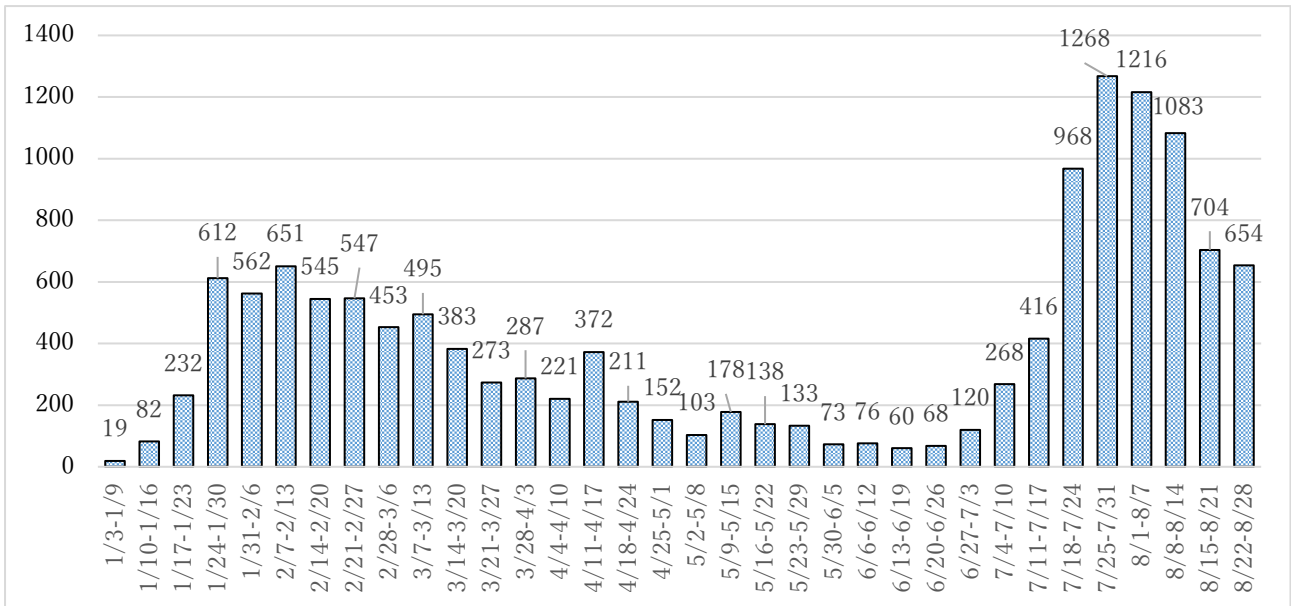
##### (2) 西区の陽性患者数の推移 (2020年4月～2022年8月28日) [人]



※毎月1日から月末までの数値

(3) 第6波から第7波における西区の陽性者数の推移 (2022年1月3日～2022年8月28日)  
 (週ごとの推移)

[人]



※国立感染症研究所の報告週対応表に基づき、月曜日～日曜日の報告数を集計



### 3-(3) デジタル区役所モデル区に係る取組

横浜DX戦略において、西区役所が「デジタル区役所モデル区」に選定され、この動きに合わせて、「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」を組織しています。

この「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」について、現在の取組状況等をご報告します。

#### 1 西区デジタル区役所モデル区プロジェクト取組内容一覧

プロジェクトでは、参加メンバーを7チームに分け、それぞれのチームでテーマを設定し、検討を進めています。

| 取組名                                     | 内容   |
|---|--|
| <b>どこでも区役所</b><br>・オンライン窓口等の整備          | ①オンライン窓口の導入<br>（育児相談、特別相談、ケアプラ相談）<br>②地区センター（2施設）にWeb会議用ブースの設置<br>（デジタルデバインド対策）  |
| <b>区役所等の防災機能強化</b><br>・情報収集、情報連携の強化     | ①SNS等を情報源としたAIによる災害情報の自動収集ツールの導入<br>②区本部・西土木・西消防のデジタル技術を活用した情報連携強化               |
| <b>書かない窓口</b><br>・マイナンバーカードの活用拡大        | ①申請書等の自動作成機器等の導入（待ち時間短縮）<br>②申請書等の事前作成サービスの導入（待ち時間短縮）                            |
| <b>出張時のタブレット活用</b><br>・出張業務でのデジタルツール活用  | ①出張業務でのデジタルツールの活用検討<br>②公用スマートフォンの導入拡大による出張業務に関わるCS向上                            |
| <b>動画コンテンツの作成・活用</b><br>・動画による窓口説明、広報強化 | ①動画作成ツールを活用した動画作成<br>（動画を活用した窓口業務の効率化）<br>②職員の動画作成スキル習得<br>（内製化による経費節減、職員のスキル向上） |
| <b>内部事務DX</b><br>・既存業務見直し、テレワーク拡充       | ①複合機への認証印刷機能の導入<br>（混在防止、資源削減）<br>②会計年度任用職員の労務管理のデジタル化<br>（業務効率化、超勤縮減）           |
| <b>区連会DX</b><br>・リモート会議、ペーパーレス化         | ①区連会定例会のWeb開催<br>②区連会定例会のペーパーレス化   |

## 2 主な取組内容の紹介

### (1) 書かない窓口（申請書等の自動作成機器等の導入）

|          |  |
|----------|--|
| 期待する効果   | ①各種証明書の発行、届出等に係る <u>申請手続きの所要時間の短縮</u><br>②手書き作業に伴う <u>来庁者の負担軽減</u><br>③ <u>マイナンバーカード</u> の活用の際の創出による <u>カード発行の啓発</u> |
| 具体的な取組事項 | 9～11月 窓口での実証実験の実施<br>11～12月 実証実験の効果検証<br>～3月 次年度以降の展開について検討、ツールに関する調査・研究   |

#### 〔所要時間の短縮効果の試算〕

#### 手続き所要時間を約40%削減

#### ○手続き 1件あたりの平均所要時間

（現行） 20分/件

（導入後） 12分/件 **（▲8分）**

#### ○年間件数 38,000件の総所要時間

（現行） 12,700時間

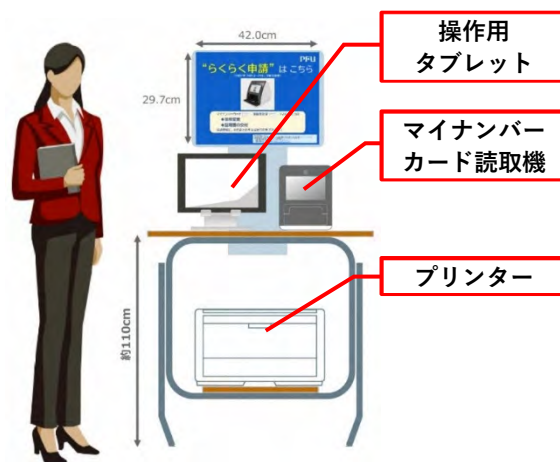
（導入後） 7,600時間 **（▲5,100時間）**

※戸籍課証明発行窓口のR3実績

※主な証明書は、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書

※時間数は手続きが全て置き換わった想定で試算

#### 〔実証実験環境のイメージ〕



### (2) 動画コンテンツの作成・活用（動画作成ツールを活用した動画作成）

|          |  |
|----------|--|
| 期待する効果   | ①窓口の回転率向上による「待たない窓口」の実現<br>②説明方法の見直しによる業務時間の創出   |
| 具体的な取組事項 | 8～9月 動画作成ツールの実証実験<br>10～12月 動画作成に関わる庁内向け研修の実施<br>12～2月 動画を事業で有効活用するためのマニュアル作成<br>～3月 次年度以降の展開について検討、ツールに関する調査・研究 |

#### 〔動画視聴説明を導入した場合のイメージ〕

こども家庭支援課の母子健康手帳の場合、

#### 他の業務に充てられる時間を約67%創出

#### ○説明 1件あたりの時間創出効果

（現行） 職員の口頭説明 30分

（導入後） 職員の口頭説明 10分+

**動画視聴説明 20分(=時間創出)**

**⇒生み出した20分を**

**次のお客様のご案内等に充てる。**

#### ○年間件数 776件の時間創出効果

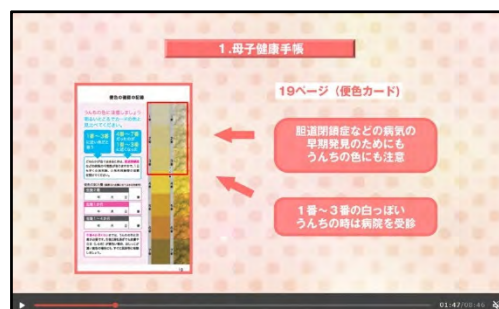
（現行） 職員の口頭説明 388時間

（導入後） 職員の口頭説明 129時間

**動画視聴説明 259時間(=時間創出)**

※西区出生数のR3実績

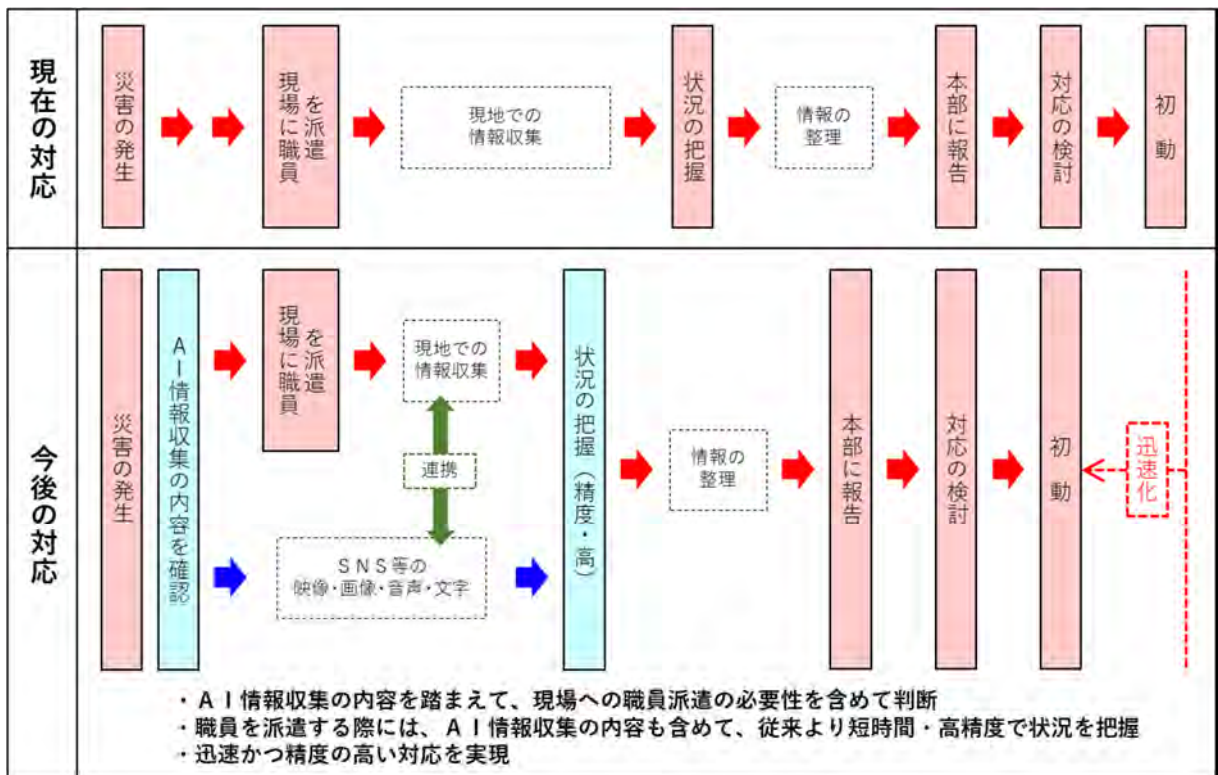
#### 〔動画作成ツール編集画面等のイメージ〕



(3) 区役所等の防災機能強化 (SNS等を情報源としたAIによる災害情報の自動収集ツールの導入)

|          |  |
|----------|--|
| 期待する効果   | <p>①災害対応に活用できる情報の充実<br/>※これまでの情報源 (関係部署からの連絡や区民等からの通報) に新たな情報源が追加されるイメージ</p> <p>②初動対応の迅速化、精度の高い対応</p>  |
| 具体的な取組事項 | <p>5~9月 類似のWebサービス (2製品) について比較検討を実施</p> <p>10月 比較検討の結果を踏まえ、1製品を選定し、試行を継続</p> <p>11月 当該Webサービスを利用した動きを取り入れた区本部訓練の実施</p> <p>~3月 次年度以降の展開について検討、ツールに関する調査・研究</p> |

〔AIによる災害情報の自動収集ツールを導入した場合の初動対応に向けた動きの比較〕



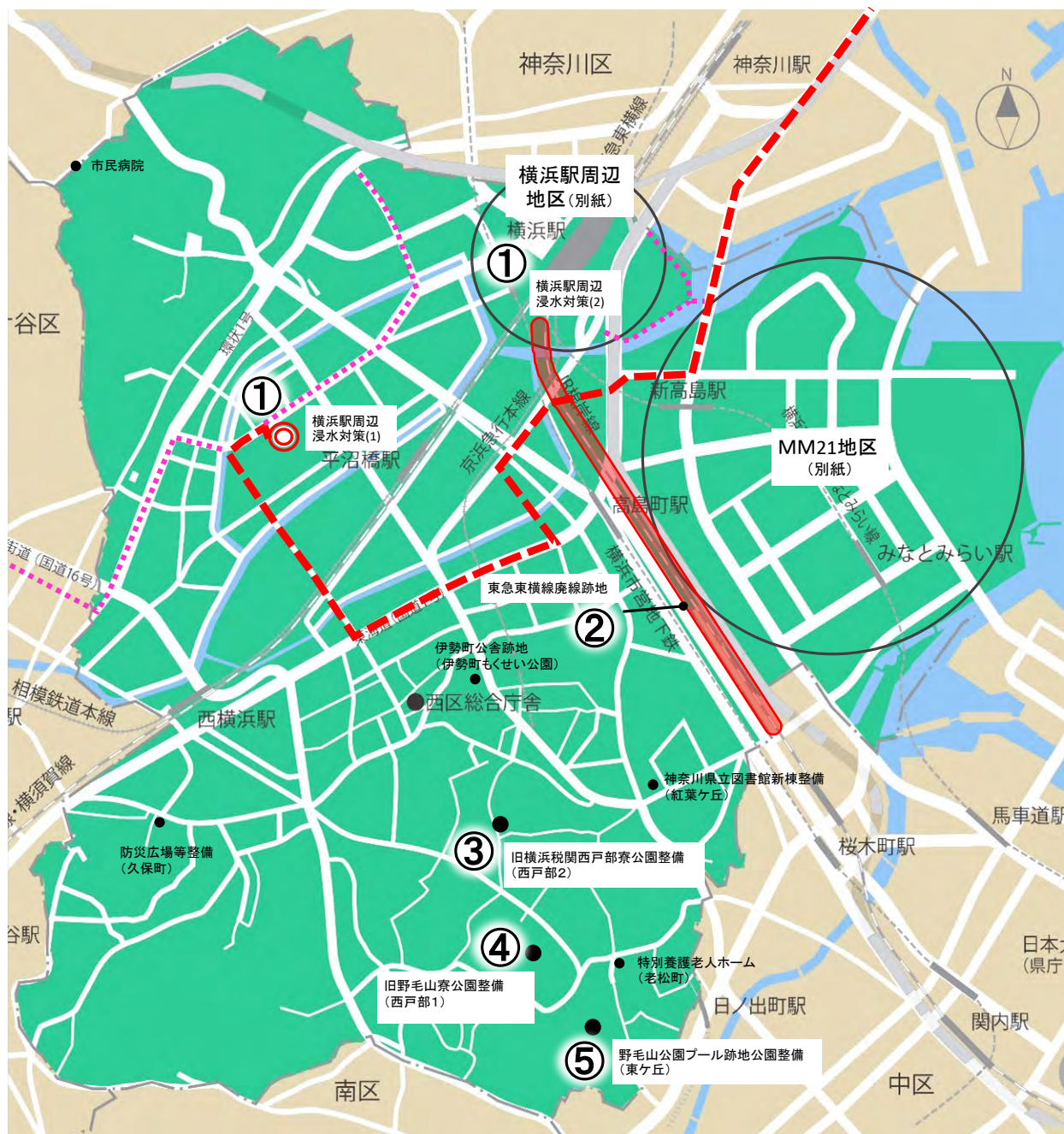
### 3-(4) 西区における開発動向等

| 地区 | 概要   |
|----|--|
| ①  | <p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業<br/>横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。<br/>地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。令和3(2021)年5月末に工事に着手しました。</p> <p>【スケジュール】<br/>令和3(2021)年5月末 工事着手<br/>令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供<br/>横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行いながら、横浜駅東口などへの展開について検討を進めていきます。</p> <p>【スケジュール】<br/>令和3(2021)年度 水位情報の提供開始(6月28日)、水位計の増設検討<br/>令和4(2022)年度 引き続き、水位計の増設検討</p> |
| ②  | <p>東急東横線廃線跡地</p> <p>桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間を令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始しました。供用区間の利活用に関する実験イベントを令和元年度に2回(9月24日、12月20日)、令和2年度には1回(10月18日)開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>令和2年度及び3年度に構造物の状況調査を行い、浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物は、大規模な耐震補強・補修工事が必要であることが判明しました。周辺の環境条件を考慮すると、補強工事等の施工が困難であることから、当該区間の構造物を撤去することとし、令和3年度は安全性を最優先に、公道上部の高島第2架道橋の撤去工事を行いました。</p> <p>今年度は撤去区間のうち、引き続き横浜方面の構造物を撤去します。また、構造物の状況調査の結果を踏まえ、東横跡地全体の基本計画を再検討します。</p>  |
| ③  | <p>旧横浜税関西戸部寮公園整備</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡</p> <p>【スケジュール】<br/>令和2(2020)年度 既存建物解体、公園計画の検討<br/>令和3(2021)年度 公園設計、擁壁設計<br/>令和4(2022)年度 公園設計、擁壁工事<br/>令和5(2023)年度以降 公園施設整備工事</p>  |



| 地図            | 概要   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
|---------------|--|-------------|-----------------------------|-------------|------------------------------|-------------|-------------------------------|---------------|--------------------|---------------|------------------------|
| ④             | <p>旧野毛山寮公園整備</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行っています。</p> <p><b>【施設概要】</b> 公園面積 約1,700㎡</p> <p><b>【スケジュール】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>令和2(2020)年度</td> <td>公道整備工事(公道化(北側))、公園設計(基盤整備1)</td> </tr> <tr> <td>令和3(2021)年度</td> <td>公園工事(基盤整備1)、公園設計(基盤整備2、公園施設)</td> </tr> <tr> <td>令和4(2022)年度</td> <td>公園工事(基盤整備2、公園施設)、公園設計(擁壁補強工事)</td> </tr> <tr> <td>令和5(2023)年度</td> <td>公園工事(擁壁補強工事)、移管手続等</td> </tr> <tr> <td>令和6(2024)年度以降</td> <td>公道整備設計・工事(公道化(南側))(予定)</td> </tr> </table> | 令和2(2020)年度 | 公道整備工事(公道化(北側))、公園設計(基盤整備1) | 令和3(2021)年度 | 公園工事(基盤整備1)、公園設計(基盤整備2、公園施設) | 令和4(2022)年度 | 公園工事(基盤整備2、公園施設)、公園設計(擁壁補強工事) | 令和5(2023)年度   | 公園工事(擁壁補強工事)、移管手続等 | 令和6(2024)年度以降 | 公道整備設計・工事(公道化(南側))(予定) |
| 令和2(2020)年度   | 公道整備工事(公道化(北側))、公園設計(基盤整備1)  |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和3(2021)年度   | 公園工事(基盤整備1)、公園設計(基盤整備2、公園施設)   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和4(2022)年度   | 公園工事(基盤整備2、公園施設)、公園設計(擁壁補強工事)  |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和5(2023)年度   | 公園工事(擁壁補強工事)、移管手続等   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和6(2024)年度以降 | 公道整備設計・工事(公道化(南側))(予定)   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| ⑤             | <p>野毛山公園プール跡地公園整備</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p><b>【施設概要】</b> 土地面積 約6,200㎡</p> <p><b>【スケジュール】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>令和2(2020)年度</td> <td>所管替え、公園計画の検討</td> </tr> <tr> <td>令和3(2021)年度</td> <td>公園計画について継続して検討</td> </tr> <tr> <td>令和4(2022)年度</td> <td>公園計画について継続して検討</td> </tr> <tr> <td>令和5(2023)年度以降</td> <td>公園設計、公園整備工事(予定)</td> </tr> </table>   | 令和2(2020)年度 | 所管替え、公園計画の検討                | 令和3(2021)年度 | 公園計画について継続して検討               | 令和4(2022)年度 | 公園計画について継続して検討                | 令和5(2023)年度以降 | 公園設計、公園整備工事(予定)    |               |                        |
| 令和2(2020)年度   | 所管替え、公園計画の検討   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和3(2021)年度   | 公園計画について継続して検討   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和4(2022)年度   | 公園計画について継続して検討   |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |
| 令和5(2023)年度以降 | 公園設計、公園整備工事(予定)  |             |                             |             |                              |             |                               |               |                    |               |                        |

### 3-(4) 西区における開発動向等(西区開発動向分布図)





### 3-(4) 西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

|       |  |
|-------|--|
| 横浜駅西口 | <p>令和2年6月に東日本旅客鉄道株によるJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビル整備が竣工し、JR横浜タワー前の屋根は令和3年6月に供用開始しました。引き続き駅前広場の整備を進めます。</p> <p>また、神奈川県になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。</p>         |
| 横浜駅東口 | <p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)で検討を進めており、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいと、地下の掘削部分を縮小するなど事業採算性のある事業計画の検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、民間開発と連携した駅前広場やデッキ等の計画について検討を行っています。</p> |
| ①     | <p><b>中央西口駅前広場</b></p> <p>令和元(2019)年7月～<br/>         令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始<br/>         令和4(2022)年12月 横浜高島屋前の屋根完成予定<br/>         引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定</p>  |
| ②     | <p><b>きた西口駅前広場</b></p> <p>令和元(2019)年7月～<br/>         令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始<br/>         令和5(2023)年3月 屋根完成予定<br/>         引き続き高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定</p>  |
| ③     | <p><b>横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル)</b> 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合</p> <p>階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m<br/>         用途：住宅、ホテル、商業施設等</p> <p>平成29(2017)年度 再開発組合設立<br/>         令和元(2019)年度 建築工事着手<br/>         令和5(2023)年度 竣工(予定)</p>              |
| ④     | <p><b>内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去</b></p> <p>平成30(2018)年～令和6(2024)年予定<br/>         令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手</p>   |



**【全体スケジュール】**

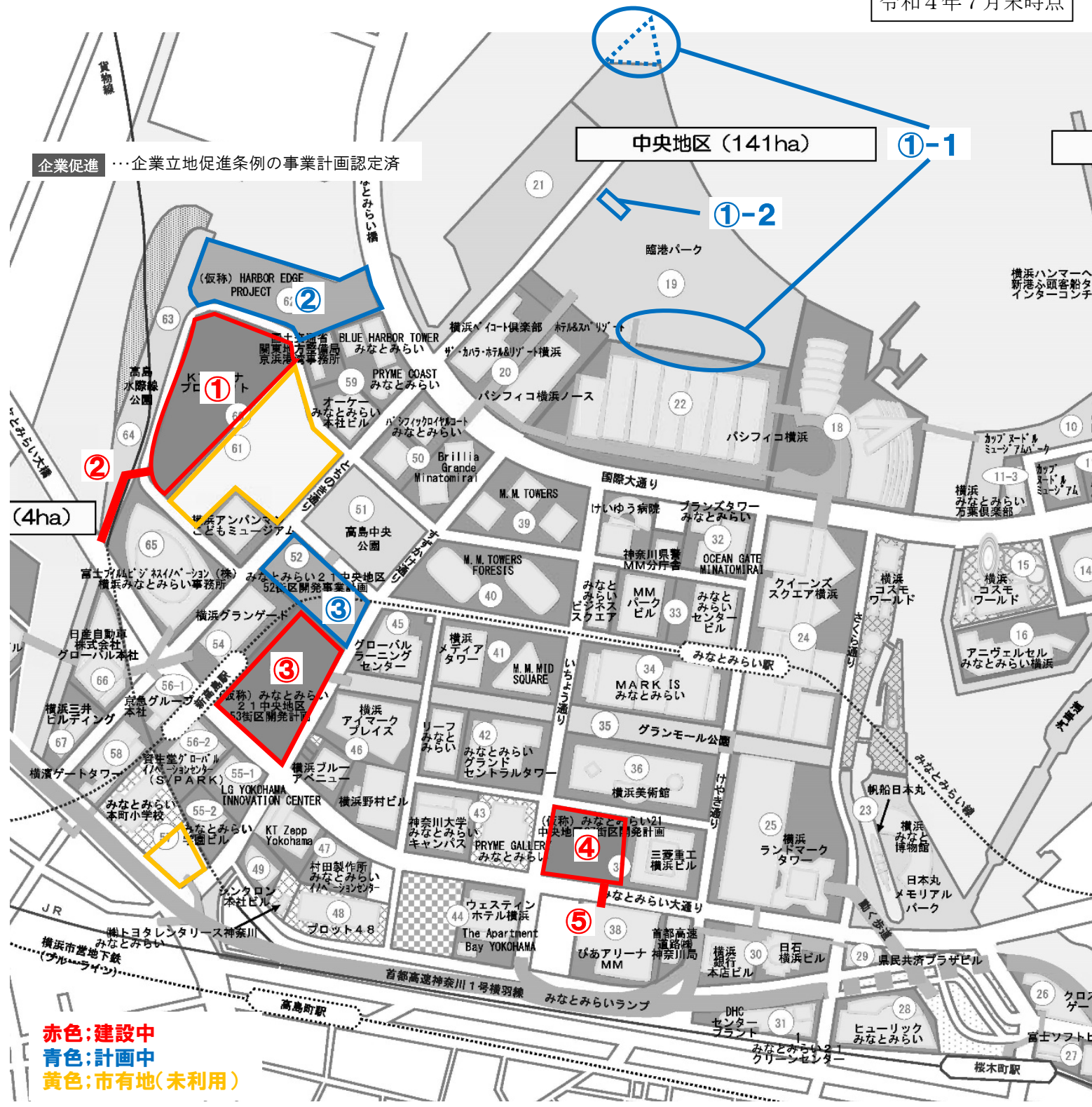
|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 令和元(2019)年7月  | ①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手        |
| 令和元(2019)年10月 | ③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手           |
| 令和元(2019)年12月 | 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通    |
| 令和2(2020)年3月  | JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工           |
| 令和2(2020)年7月  | ①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了 |
| 令和2(2020)年8月  | ①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手       |
|               | JR横浜駅改札内通路整備完了                |
| 令和2(2020)年12月 | BAYSIDE BLUE 待合室整備完了          |

|               |  |
|---------------|--|
| 令和3(2021)年6月  | ①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了・JR横浜タワー前屋根供用開始 |
| 令和3(2021)年10月 | ②きた西口駅前広場 屋根工事着手                       |
| 令和4(2022)年1月  | ①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手                 |
| 令和4(2022)年12月 | ①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成(予定)               |
| 令和5(2023)年3月  | ②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)                     |
| 令和5(2023)年度   | ③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)                    |
| 令和6(2024)年度   | ④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)                    |



3-(4) 西区における開発動向等 (みなとみらい21地区)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>赤①</b></p> <p>60・61の一部：Kアリーナプロジェクト<br/>(ミュージックテラス)<br/>Kアリーナ横浜/ヒルトン横浜/Kタワー横浜</p> <p style="text-align: right;"><b>企業促進</b></p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション<br/>規模等/高さ：地上28階/約100m<br/>敷地/延床面積：約31,800㎡/約118,700㎡<br/>施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設<br/>竣工：令和5(2023)年7月予定</p> | <p><b>赤④</b></p> <p>37の一部：(仮称)みなとみらい21<br/>中央地区37街区開発計画</p> <p>事業主体：合同会社KRF48<br/>規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m<br/>敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡<br/>施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場<br/>竣工：令和5(2023)年1月予定</p>   |
| <p><b>赤②</b></p> <p>60・61の一部-みなとみらい大通り：<br/>(仮称)高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局<br/>規模等：幅員6.0m、橋長約130m<br/>着工：令和3(2021)年10月<br/>竣工：令和5(2023)年度予定</p>  | <p><b>赤⑤</b></p> <p>37-38：<br/>(仮称)みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局<br/>規模等：幅員6.0m、橋長約50m<br/>着工：令和3(2021)年10月<br/>竣工：令和4(2022)年度予定</p>   |
| <p><b>赤③</b></p> <p>53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画</p> <p>事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体<br/>規模等/高さ：地上30階/約160m<br/>敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡<br/>施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等<br/>竣工：令和6(2024)年3月予定</p>  | <p><b>赤③</b></p> <p>53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画</p> <p>事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体<br/>規模等/高さ：地上30階/約160m<br/>敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡<br/>施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等<br/>竣工：令和6(2024)年3月予定</p>                               |
| <p><b>青①</b></p> <p>19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】<br/>事業主体：港湾局<br/>規模等：約1.5ha<br/>施設：接続デッキ(パシフィコ横浜)緑地、護岸、藻場・浅場(人工海浜・岩場)等<br/>着工：令和3(2021)年度</p>  | <p><b>青②</b></p> <p>62：(仮称)HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：(代表企業) Berjaya Corporation Berhad (構成企業) 丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社<br/>規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m<br/>敷地/延床面積：約22,000㎡/約82,660㎡<br/>施設：ホテル&amp;ホテルコンドミニアム、水族館、店舗等<br/>竣工：令和8(2026)年9月予定</p> |
| <p><b>青①</b></p> <p>19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【カフェ・ランニングステーションの整備】<br/>事業主体：(代表企業) 株式会社伊佐建設 (構成企業) 株式会社ドラフト スプリングハズカム合同会社<br/>規模等：地上3階<br/>敷地面積：約600㎡<br/>施設：カフェ、ランニングステーション、レストラン等<br/>竣工：令和5(2023)年度予定</p>   | <p><b>青③</b></p> <p>52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優<br/>規模等/高さ：地上29階、地下1階/約180m<br/>敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡<br/>施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗<br/>竣工：令和8(2026)年6月予定</p>                        |





3-(5) 令和3年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)

| 区分            | 予算額         | 決算額         | 差引          | 執行率    |
|---------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 自主企画事業費       | 99,090,000  | 98,256,532  | 833,468     | 99.2%  |
| 統合事務事業費       | 36,032,000  | 33,285,107  | 2,746,893   | 92.4%  |
| 区庁舎・区民利用施設管理費 | 449,787,000 | 452,401,838 | ▲ 2,614,838 | 100.6% |
| 合計            | 584,909,000 | 583,943,477 | 965,523     | 99.8%  |

2 重点事業（自主企画事業費）

| <b>1 地域のつながりづくり</b>                  |  | 10,045,772円  |
|--------------------------------------|--|--|
| 主な事業                                 | 事業内容   | 事業実績   |
| 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 | 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の普及啓発、第4期地域福祉保健計画の策定      | ・第4期計画リーフレットデザイン作成(12月)<br>・地区別計画動画制作(2月)<br>・第4期計画策定アドバイザー派遣(通年)                          |
| 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業              | 「にしくスマホサポーター」養成講座の実施、ICTツールを活用した施設での事業展開支援     | ・「にしくスマホサポーター」養成講座の実施(1月～3月)<br>・ICTツールを活用した施設での事業展開のための機材導入                               |
| 地域連携交流事業                             | 西区地域づくり大学校修了生への活動費補助、神奈川大学との連携によるSDGsシンポジウムの開催 | ・西区地域づくり大学校修了生への活動費補助(1件)<br>・神奈川大学と連携しSDGsシンポジウムをオンライン開催(当日211人視聴)                        |
| <b>2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり</b>          |  | 19,030,995円  |
| 主な事業                                 | 事業内容   | 事業実績   |
| 高齢者あんしん生活サポート事業                      | 認知症サポーター養成講座の開催、ころばんよ体操による介護予防普及啓発             | ・区民参加型の介護普及啓発の実施<br>・ユマニチュード講演会(12月)※オンライン講座<br>・ころばんよ体操関連事業の実施<br>Part 2の作成(3月)           |
| 障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業                | 障害理解のための啓発、医療的ケア障害児者への災害対策、障害者生活体験事業の実施        | ・障害理解促進のための啓発事業(12月、参加者124人)<br>・医療的ケア障害児者「災害対策ファイル」作成支援(通年)<br>・障害者生活体験事業(9月及び1月、体験見学56人) |
| <b>3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり</b>            |  | 21,290,534円  |
| 主な事業                                 | 事業内容   | 事業実績   |
| 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業                  | まち歩きルート「温故知新のみち」の活用・啓発、にしく緑花サポーターへの花苗等の配布      | ・まち歩きルート「温故知新のみち」の案内サイン地図等更新(8月)、散策マップ製作(3月)<br>・にしく緑花サポーター花苗等配布(56ヶ所)                     |
| 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業                   | にしくスタイル、商店街スタンプラリー、西区商店街食べ歩き等の実施               | ・西区商店街スタンプラリー実施(8月)<br>・西区商店街食べ歩きの実施(9～10月)<br>・にしくスタイル事業の実施(12～1月)                        |
| 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業                  | 公園の花壇や藤の花の再生への取組みを通じて、地域のつながりやにぎわいを形成する場を提供    | ・公園愛護会等との花植え活動(年2回、区内14公園、参加者190人)<br>・藤の管理作業講習会の開催(年4回、参加者39人)                            |
| <b>4 安全・安心なまちづくり</b>                 |  | 23,693,631円  |
| 主な事業                                 | 事業内容   | 事業実績   |
| 地域防災活動推進事業                           | 地域防災拠点の機能強化、感染症対策を含めた区本部の防災機能強化、自助・共助の推進       | ・地域防災拠点及び避難所の感染症対策強化<br>・木造住宅密集地域における減災対策の推進<br>・防災啓発(在宅避難リーフレット発行5,000部)                  |
| 西区環境行動推進事業                           | 区民参加型取組「にしくecoチャレンジ」の実施、SDGsパネル展の開催            | ・にしくecoチャレンジの実施(参加者219人)<br>・SDGsパネル展の開催(11～2月、参加企業・団体20者、5会場)                             |
| 西区ヨコハマ3R夢推進事業                        | 環境行動推進功労者表彰式の開催、店頭啓発・環境学習の実施、地域へ清掃用具配付         | ・環境行動推進功労者の表彰(個人8、団体4)<br>・店頭啓発の実施(5回)<br>・環境学習の実施(15回)<br>・地域へ清掃用具配付(8月)                  |
| <b>5 親しみやすい区役所づくり</b>                |  | 24,195,600円  |
| 主な事業                                 | 事業内容   | 事業実績   |
| サービス改善推進事業                           | 職員への窓口対応向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供    | ・外部講師によるCS向上等を目指した研修の実施<br>・CS、ES向上のための区役所の環境整備<br>AI文字起こしシステムの試行導入                        |
| 区総合庁舎等環境整備事業                         | 安全・安心・快適に利用できる区庁舎等を目指し、トイレ扉の自動ドア化等の感染症対策を実施    | ・感染症対策としてトイレ扉の自動ドア化<br>・窓口用マイクスピーカー等感染症対策物品購入<br>・会議室の環境改善(モニター、音響設備増設)                    |
| <b>合計</b><br>(自主企画事業費決算額)            |  | 98,256,532円  |

令和3年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費） 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)

| 番号 | 事業名                                      | 予算額        | 決算額        | 差引        | 執行率     |
|----|--|------------|------------|-----------|---------|
| 1  | 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」<br>(西区地域福祉保健計画)の推進 | 3,096,000  | 2,078,697  | 1,017,303 | 67.14%  |
| 2  | 西区ふれあい福祉推進事業                             | 3,103,000  | 2,815,613  | 287,387   | 90.74%  |
| 3  | 地域連携交流事業                                 | 600,000    | 408,330    | 191,670   | 68.06%  |
| 4  | 地域活動事業                                   | 4,089,000  | 4,242,632  | ▲153,632  | 103.76% |
| 5  | 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業                  | 480,000    | 500,500    | ▲20,500   | 104.27% |
| 小計 |  | 11,368,000 | 10,045,772 | 1,322,228 | 88.37%  |

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)

| 番号 | 事業名                 | 予算額        | 決算額        | 差引        | 執行率     |
|----|---------------------|------------|------------|-----------|---------|
| 1  | 高齢者あんしん生活サポート事業     | 3,268,000  | 3,631,944  | ▲363,944  | 111.14% |
| 2  | 障害のある人も住みやすいまちづくり事業 | 4,119,000  | 3,823,659  | 295,341   | 92.83%  |
| 3  | 読書活動推進事業            | 1,695,000  | 1,417,992  | 277,008   | 83.66%  |
| 4  | 地域の力を生かしたスクールサポート事業 | 1,541,000  | 1,196,340  | 344,660   | 77.63%  |
| 5  | 区役所キッズスペース運営事業      | 4,773,000  | 4,721,677  | 51,323    | 98.92%  |
| 6  | 地域子育てサロン運営支援事業      | 368,000    | 255,170    | 112,830   | 69.34%  |
| 7  | 西区で子育て学び隊事業         | 2,670,000  | 2,255,000  | 415,000   | 84.46%  |
| 8  | 西区の保育施設つながり事業       | 702,000    | 592,477    | 109,523   | 84.40%  |
| 9  | 女性と子どものための相談支援強化事業  | 690,000    | 379,670    | 310,330   | 55.02%  |
| 10 | 健康づくり応援事業           | 1,850,000  | 589,074    | 1,260,926 | 31.84%  |
| 11 | 家計のやりくり応援事業         | 454,000    | 167,992    | 286,008   | 37.00%  |
| 小計 |                     | 22,130,000 | 19,030,995 | 3,099,005 | 86.00%  |

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)

| 番号 | 事業名                 | 予算額        | 決算額        | 差引         | 執行率     |
|----|---------------------|------------|------------|------------|---------|
| 1  | 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 | 4,400,000  | 3,294,959  | 1,105,041  | 74.89%  |
| 2  | 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業  | 3,114,000  | 4,649,376  | ▲1,535,376 | 149.31% |
| 3  | 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業 | 2,353,000  | 2,295,350  | 57,650     | 97.55%  |
| 4  | 広報充実事業              | 2,728,000  | 2,379,151  | 348,849    | 87.21%  |
| 5  | 西区民まつり              | 6,007,000  | 0          | 6,007,000  | 0.00%   |
| 6  | ふるさと西区魅力発信事業        | 4,845,000  | 4,780,072  | 64,928     | 98.66%  |
| 7  | 地域文化振興事業            | 1,166,000  | 960,000    | 206,000    | 82.33%  |
| 8  | スポーツ振興等事業           | 4,175,000  | 2,931,626  | 1,243,374  | 70.22%  |
| 小計 |                     | 28,788,000 | 21,290,534 | 7,497,466  | 73.96%  |

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)

| 番号 | 事業名               | 予算額        | 決算額        | 差引        | 執行率     |
|----|-------------------|------------|------------|-----------|---------|
| 1  | 地域防災活動推進事業        | 13,003,000 | 10,677,966 | 2,325,034 | 82.12%  |
| 2  | 西区環境行動推進事業        | 2,106,000  | 2,384,431  | ▲278,431  | 113.22% |
| 3  | 放置自転車対策事業         | 4,104,000  | 2,894,028  | 1,209,972 | 70.52%  |
| 4  | 西区ヨコハマ3R夢推進事業     | 2,858,000  | 2,810,518  | 47,482    | 98.34%  |
| 5  | 交通安全事業            | 2,424,000  | 2,241,766  | 182,234   | 92.48%  |
| 6  | 安心して暮らせるまちづくり推進事業 | 2,004,000  | 1,664,556  | 339,444   | 83.06%  |
| 7  | 食中毒・感染症予防対策事業     | 1,174,000  | 1,020,366  | 153,634   | 86.91%  |
| 小計 |                   | 27,673,000 | 23,693,631 | 3,979,369 | 85.62%  |

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)

| 番号 | 事業名          | 予算額       | 決算額        | 差引          | 執行率     |
|----|--------------|-----------|------------|-------------|---------|
| 1  | 区総合庁舎等環境整備事業 | 6,003,000 | 20,076,108 | ▲14,073,108 | 334.43% |
| 2  | サービス改善推進事業   | 810,000   | 2,648,696  | ▲1,838,696  | 327.00% |
| 3  | 人権啓発推進事業     | 318,000   | 59,500     | 258,500     | 18.71%  |
| 4  | 統計便覧作成事業     | 630,000   | 499,840    | 130,160     | 79.34%  |
| 5  | 区民生活マップ作成事業  | 830,000   | 500,495    | 329,505     | 60.30%  |
| 6  | 区政推進運営事業     | 540,000   | 410,961    | 129,039     | 76.10%  |
| 小計 |              | 9,131,000 | 24,195,600 | ▲15,064,600 | 264.98% |

(単位：円)

|     |            |            |         |        |
|-----|------------|------------|---------|--------|
| 総合計 | 99,090,000 | 98,256,532 | 833,468 | 99.16% |
|-----|------------|------------|---------|--------|

主な増減理由（100万円以上の増減があるもの）

- ※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区支援アドバイザー業務の縮小やにこまちフォーラムを中止したことによる減
- ※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食育推進会議、食育体験講座やその他啓発活動を中止したことによる減
- ※3 新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客が減少し、ガイド情報誌の英語版の増刷を中止したことによる減
- ※4 「にしくスタイル」及び「にしくキッチン」事業の新規実施に伴い、委託費等が発生したことによる増
- ※5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区民まつりが中止となったことによる減
- ※6 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となり、補助金の不用が生じたことによる減
- ※7 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となり、補助事業の周知機会が減ったこと等により、補助申請数が少なかったことによる減
- ※8 違法駐輪監視員委託の入札価格が予定価格を下回ったことによる減
- ※9 新型コロナウイルス感染症対策として区庁舎トイレ扉自動ドア化や会議室の改修等を行ったことによる増
- ※10 区役所駐車場に駐車できなかった来庁者への駐車料金減免相当対応や、Web会議用物品の購入等による増

### 3-(6) 令和5年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

#### 1 予算編成の基本方針

西区運営方針の基本目標「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ」の達成に向けて、「感染症対策の強化」「DXの推進」に取り組むとともに、重点項目を設定し、事業の検討を進めます。

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」等をふまえ、区役所も徹底的な歳出改革に取り組めます。限られた財源の中で、自主企画事業費の事業効果を最大限発揮するため、①アウトカム指標の設定、②事業の見直しの徹底により既存事業の見直しを促すとともに、③新たな地域ニーズへ対応する新規・拡充事業を企画することで、自主企画事業費の新陳代謝を図っていきます。

#### 2 重点項目

##### (1) 地域のつながりづくり

「にこまちプラン」の推進を通じて、地域主体の取組、課題解決の場づくりや担い手づくりを支援するとともに、つながりづくりを応援します。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい状況が続く中で、地域や活動者の声に寄り添い、支援を続け、活動の維持発展に向けた新しい手法も検討し、実践します。

##### (2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者への活動のサポート、障害の理解を深める啓発、感染症予防、生活習慣病予防などの健康づくりを進めます。

##### (3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

地域・企業の皆さまによって連綿と醸成されてきた「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を、新しい生活様式を踏まえた上で、地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。

##### (4) 安全・安心なまちづくり

新型コロナウイルス感染症対策など健康危機管理に取り組むとともに、要援護者対応に係る自助・共助の取組の支援、横浜駅やみなとみらい地区等の大規模施設、複数の危険密集市街地、土砂災害特別警戒区域等を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、地域と連携した防犯・交通安全対策、企業等との協働によるプラスチック対策などに力を入れて取り組みます。

##### (5) 親しみやすい区役所づくり

区民の皆さまに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供するとともに、誰もが安心して快適に施設を利用することができるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を行います。

#### 3 予算編成の進め方

(1) 事業の検討にあたっては、円卓会議をはじめ、様々な機会を通じていただいた区民の皆様のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。

- (2) 地域の新たなニーズや課題、特に新型コロナウイルス感染症によって変わった新しい社会に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、ゼロベースから必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。
- (3) デジタル区役所モデル区としてデジタル技術の積極的な活用を図るほか、市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して編成を進めます。